



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報 大森 海苔のふるさと館 ニュース45号

ふるさと館サポーター はまどの会

■活動内容

*** 催し物のボランティア**—海苔つけ体験など主に海苔に関する催し物のボランティアです。参加者の誘導や案内、資料の配布、道具の運搬などを行います。学校の海苔つけ体験などの学習支援も行っています。



*** 子供向けの工作の指導**—小学生向けの夏休み工作の指導や、子供向けの折紙など簡単に覚えられます。

*** 研修**—活動に役立つ海苔の知識や地域の情報などを学べる、はまどの会対象の研修に参加できます。座学と体験の二つがあり、繰り返し学ぶことができます。



*** 館の活動のボランティア**—花壇の手入れや体験用の海苔簀づくり、浜辺の学習の安全管理などのボランティアも行っています。

*** その他**—そのほかにも、はまどの会全体会やバス研修旅行への参加、他館見学など、楽しい企画もあります。



■活動日

活動のスケジュールは、毎月、はまど通信を発行してお知らせしています。

主に土日祝はイベントのボランティア、平日は研修や準備作業などの活動を行っています。仕事をしている方も、自分の休みに合わせて自由に活動日を選ぶことができます。

■活動の方針

参加条件は「誰とでも仲良く活動できること」だけです。活動日数や曜日などの制約はなく、「できることを、できるときに、楽しく笑顔で！」を合言葉に、無理なくそれぞれのペースで活動しています。

■参加のメリット

メンバーの多くは60代でやや女性が多いですが、

はまどの会は、海苔の活動を深く学んだり、催し物のボランティアをしたりして、ふるさと館の活動を支えています。普段の活動の内容や様子をご紹介します。仲間も随時募集しています！

世代や性別分け隔てなく、仲良く活動をしています。

活動に参加すると、海苔の仕事に苦労し



ながら学び習得する喜び、それをイベントの参加者や子どもたちに教える喜びを感じることができます。また、元海苔生

産者や参加者との会話が楽しみという方もいます。

■ぜひ一緒に

*** 子どもが好きな人**—親子参加のイベントがたくさんあります。

*** 小学校の学習支援に関心のある方**—小学校の海苔つけや見学案内などを行っています。

*** 工作が好きな人**—折紙や夏休み工作などの指導。
*** 海苔の伝統と文化を伝えたい人**—当館一番人気の海苔つけ指導者になってみませんか。

興味のある方は、当館にお電話または窓口にお問合せください。年間を通してメンバーを募集しています。



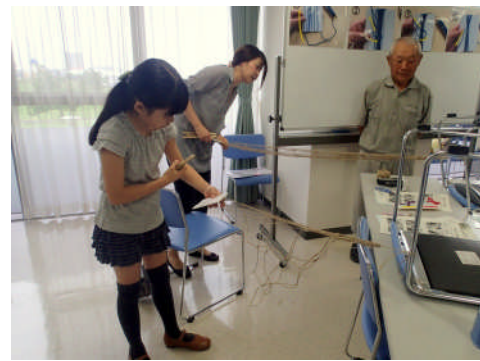
(まこ)



5月の全体会終了後、はまどの海苔巻きとおにぎらずを作って交流会。おしゃべりも盛り上がりました。

ふるさと館オリジナル 緑のカーテンと馬込半白節成きゅうり

5月16日、「緑のカーテンを編もう」を開催しました。このイベントでは、「網針」と「目板」という昔の道具を使い、海苔網の編み方である「かえる股」と「とっくり」を応用して、ゴーヤなどのつるが巻き付くためのネットを作りました。参加者は悪戦苦闘しながら、オリジナルのネットを編みあげ、



お土産として持ち帰りました。当日は大田区環境保全課から提供いただいたゴーヤのタネもプレゼントしたので、今頃は

立派に育っているのではないのでしょうか。

館の職員も自分たちでネットを編み、入口近くに設置しました。ふるさと館で育てているのはゴーヤと馬込半白節成きゅうりです。馬込半白節成きゅうりとは、馬込を発祥とする江戸野菜の一種です。名前の通り、ヘタ側が緑で先の方が白い「半白」で、節ごとに実ができる「節成」が特徴です。ぬか漬けなどの漬物向きだそうです。明治後半から昭和の中ごろまで多く生産され、一度は姿を消しましたが、多くの人の手により復活し、栽培されています。



(三好)

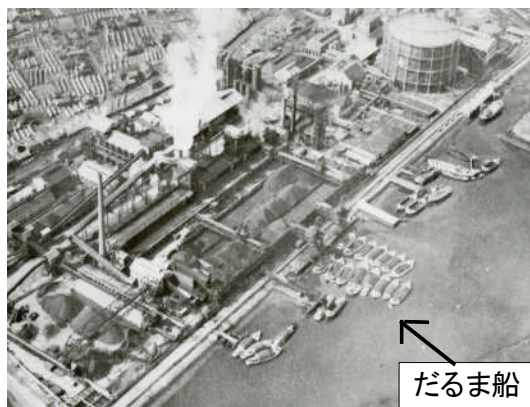


大森の歴史を伝えるだるま船

2階のエレベーター前に、新しく「だるま船」の模型がお目見えしました。

「だるま船」とは沖合の大型船から、工場へ燃料となる石炭を運ぶために使われていた船です。他の船に引いてもらって移動すること、形が丸いことからこの名前がついたと言われています。

大森地区の沿岸部には、明治の終わり頃から大工場が立ち並んでいました。現在は「大森ふるさとの浜辺公園」として親しまれている場所近くにも、かつては東京ガス大森工場が建っており、そばには石炭を山のように積んだ「だるま船」が並んでいました。大森で海苔づくりが行われていたのと同じ頃に、「だるま船」も大森の海に浮かんでいたのです。



『大森工場史』より
工場全景 昭和29年ごろ



小島延喜さんとだるま船

今回模型を製作、寄贈して下さったのは、元船大工の小島延喜さんです。小島さんの家では、かつて船大工「船竹」を営まれており、1階の海苔船や中べかの造船を手掛けたのも「船竹」でした。この模型は、戦前に「船竹」で造船した船型をもとに制作されたものです。船頭の家族が船内で生活していた様子を再現するため、手作りのかまどや物干し場、水がめなども取り付けられています。どんな家族がこの船で暮らしていたのか…想像がふくらみますね。

(三好)

認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」45号
平成27年6月1日発行
編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区 平和の森公園2番2号
TEL 03-5471-0333
FAX 03-5471-0347

海苔のふるさと会
会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。